

06/08~06/14

06/08・トルコ総選挙、イスラム与党過半数割れ クルド系政党躍進

通貨リラ過去最安値 株、大幅下落 国債も売られる

06/09・G7サミット(主要7カ国首脳会議)閉幕(ドイツ、エルマウ8日)

中国、ロシアの領土変更批判 「法の支配」共通理念に

・バーゼル委 銀行の国債保有新規制で2案提示 来年に結論持ち越し

A案) リスクに応じて資本積み増し B案) 金融当局に監督権限強化

06/10・株安・通貨安、アジア動揺 米利上げ観測でマネー流出 <1>

強まるリスク回避 日経平均360円安

⇒ポイント解説あります

06/11・韓国、0.25%利下げ MERS・ウォン高に配慮 過去最低の1.5%に <2>

MERS、経済に影 百貨店売上高16%減 映画館入場者54%減 外出控え消費落ち込む

・米、昨年39年ぶり産油量世界一 シェール増産で勢い 英石油大手BP調べ

3年連続で毎年100万バレル以上増産 サウジアラビアを一気に追い抜く

・黒田日銀総裁「さらに円安、なりそうもない」円安けん制か 125円の壁意識

06/12・中国、一段と投資減速 景気に下振れ圧力 <3>

5月不動産開発など低水準、自動車販売も2ヶ月連続で前年割れ 追加金融緩和の見通し

・世界銀行副総裁 AIIBによる投資余力拡大を歓迎

AIIBに世銀からアプローチし、密接に連携 今後協調融資などの形でインフラ整備に

・集团的自衛権、オーストラリアも対象 中谷防衛相、衆院安保特委で表明

06/13・朴韓国大統領、慰安婦協議「相当の進展」米紙インタビューで

11日ワシントン・ポスト「今は最終段階」「意味のある国交正常化50年を期待」

趙外務次官、日経インタビューで「慰安婦問題、重要な段階」日韓関係改善に意欲

・習主席、権力基盤固め一段落 11日党最高幹部周永康氏に無期懲役

反腐敗改革で有力者の影響排除 日中関係に前向きな姿勢を打ち出す体勢築く

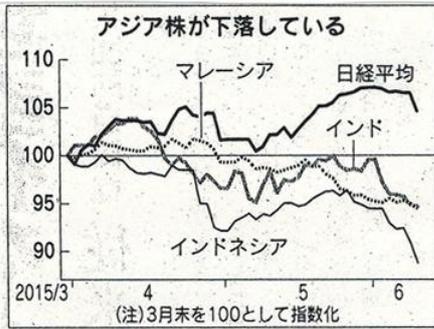
06/14・米下院、TPP関連一部法案否決 再採決でも否決なら調整難航 <4> <5>

TPAは僅差で可決もTAAは大差で否決 TPP閣僚会合の交渉妥結の遅れは避けられず

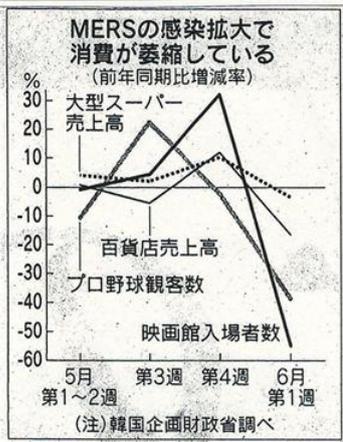
・EUのギリシャ支援、期限迫る 18日の財務会合が節目 <6>

6月末期限の72億ユーロ(約1兆円)支援実行には手続き上今週末までの合意が必要

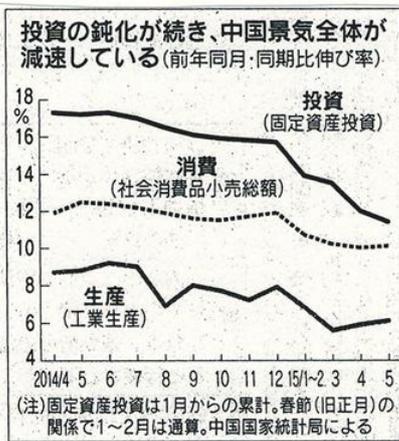
< 1 >



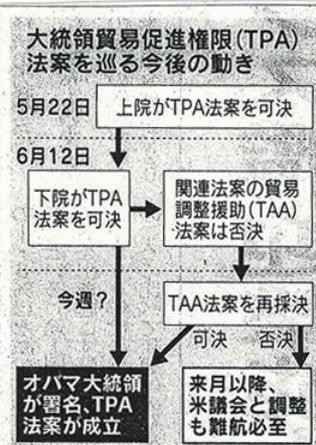
< 2 >



< 3 >



< 4 >



< 5 >

▼TPAとTAAとはできない。TPA法案が成立すれば議会は大統領が示した通商協定案の修正ができなくなるため、相手国との交渉が進みやすくなる。TAA(貿易調整援助)はTPAに関連する制度で、貿易自由化に伴い職を失った労働者に求職や転居費用などを補償する。自由化で不利益を被る労働者らに補償を用意することで自由化を進めやすくする狙いがあり、オバマ政権はTPA法案成立に不可欠の制度とみている。

< 6 >

ギリシャ支援巡る交渉は時間切れが迫っている

6月18日	ユーロ圏財務相会合
25日~26日	EU首脳会議
30日	IMFへの返済期限(計15億ユーロ超を返済) EUなど債権団による第2次金融支援が終了
7月20日	ギリシャ、ECBへ約35億ユーロを返済(国債償還)
8月20日	ギリシャ、ECBへ約32億ユーロを返済(国債償還)